

Schroders



# サプライチェーン・アジア・サミット2021

## ネットゼロ時代の サプライヤーエンゲージメント

2021年3月

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社  
ESG推進グループ 工藤まゆみ

# Sustainability at Schroders

Our experience and expertise

**21+**  
years

ESGインテグレーション  
実績

**20**

ESG専任  
スペシャリスト

**195+** years

ESG専任スペシャリストの  
運用経験年数総計

ESGインテ  
グレーション完了



シュローダーの全運用戦略対象<sup>2</sup>

**2,100+**

2020年エンゲージメント  
実施数

**58**

エンゲージメント対象  
企業の所在国数

**10**

当社独自のESGツール  
/フレームワークの数

**13,000+**

当社独自のサステナビリティレポート  
ツールでカバーする分析対象企業数

**A+**

UN PRI 年次評価<sup>1</sup>

**1st**

自社の資本コストをサステナ  
ビリティ目標と連動させた  
最初の資産運用会社

**UN**

global compact

署名機関



**Net Zero  
Asset Manager**

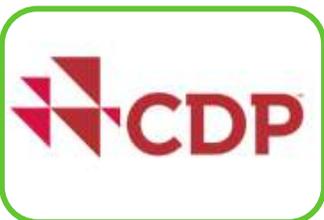
イニシアティブ設立時の  
メンバー

Source: Schroders, January 2021 unless otherwise stated. <sup>1</sup>PRI, 2015 - 2020 Assessment Reports. <sup>2</sup>For certain businesses acquired during the course of 2020 we have not yet integrated ESG factors into investment decision-making. There are also a small number of strategies for which ESG integration is not practicable or now possible, for example passive index tracking or legacy businesses or investments in the process of or soon to be liquidated, and certain joint venture businesses are excluded.

第三者機関による評価は過去の一定の期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

# シュロダーのESGに対する取り組み

## 様々なグローバル・イニシアチブを通じてESG投資を推進



Source: Schroders.

シュローダーの実施する年次機関投資家調査は、**グローバル26カ国、合計25.9兆ドルを運用する650の機関投資家の投資見通しを分析したものです。**

当調査では、マクロ経済、地政学上の見通し、期待リターン、アセットアロケーション、プライベート・アセットおよびサステナブル投資への投資態度など、グローバルの大手機関投資家の関心と懸念について概観します。

今年の調査は、新型コロナウイルス危機の規模と世界的な影響が明らかになった後の、2020年4月に実施しました。

## サステナビリティに対する機関投資家の意向：

**67%** サステナブル投資手法としてESGインテグレーションを好む投資家の割合

**67%** 今後5年間でサステナブル投資が担う役割の重要性が高まると考える投資家の割合

**60%** サステナブル投資における主な課題としてグリーンウォッシングを挙げる投資家の割合

**58%** サステナブル投資に重点的に取り組むにあたって、自社の価値観との一致が最も重要と答えた投資家の割合

“

サステナビリティに関して、投資家はアセットマネジャーにより多くのものを求めるようになっており、要求の内容もより高度になってきています。サステナブル投資と優れた投資リターンは両立可能であることを示す証拠は増え続けています。

具体的な行動を求め、グリーンウォッシングを排除するために規制当局が対策に乗り出していることは歓迎すべきことです。このことは実質的な変化をもたらし、投資家が正しい情報に基づいて投資判断を下すことができるようになるものと期待しています。また、アセットマネジャーと投資家がこうした要求の高まりやサステナビリティ関連情報の増加を負担に感じないようにすることも重要です。

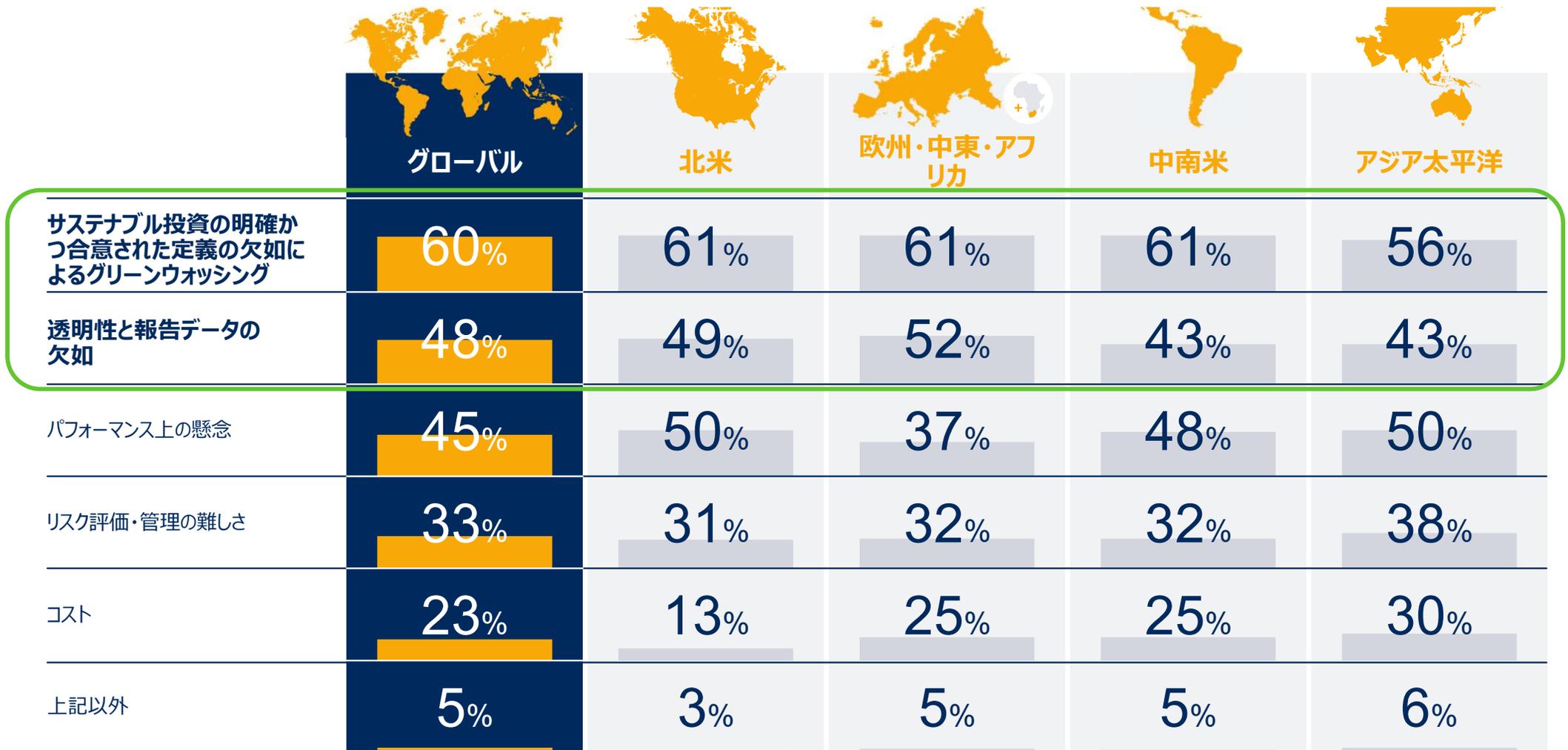
弊社は、業界関係者や政策立案者、規制当局と緊密に連携し、バランスの取れた取り組みを推進しています。



**Andrew Howard**  
サステナブル投資チーム ヘッド

# サステナブル投資においてはグリーンウォッシングが最大の課題と見なされている

以下の要因の内、どれがサステナブル投資において課題であると考えますか？ 該当するもの全てを選んでください



複数回答可。| 「その他」を記載していないため、合計が100%に満たない可能性があります。

# 気候変動の緩和は官民両方の責任

## 気候変動の緩和については誰が責任を負うべきですか？

機関投資家は、国と規制当局が気候変動の緩和に向けた取り組みにおいて重要な役割を担うと考えています（82%）。  
70%は気候変動の影響を軽減する上で企業の努力が重要だと考えており、この結果は、サステナビリティに関しては自社の価値観との一致を図ることが重要であるという投資チームの見解と符合します。

「上記以外」を選んだ回答者が非常に少なかった（3%）のは興味深い結果です。これは、気候変動の緩和については全てのステークホルダーに一定の責任があると機関投資家が考えていることを示します。

82%

国・規制当局

70%

企業

61%

政府間組織  
(国連、NGOなど)

39%

アセットマネジャー・大株主

3%

上記以外

18%

投資コンサルタント

37%

NGO・慈善団体

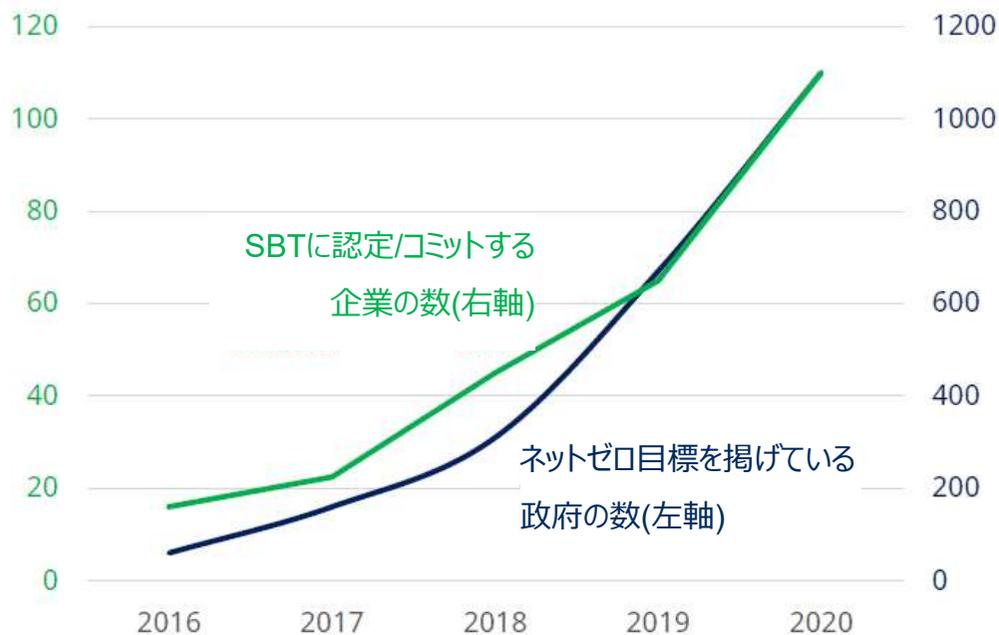
39%

機関投資家(年金基金、保険会社など)

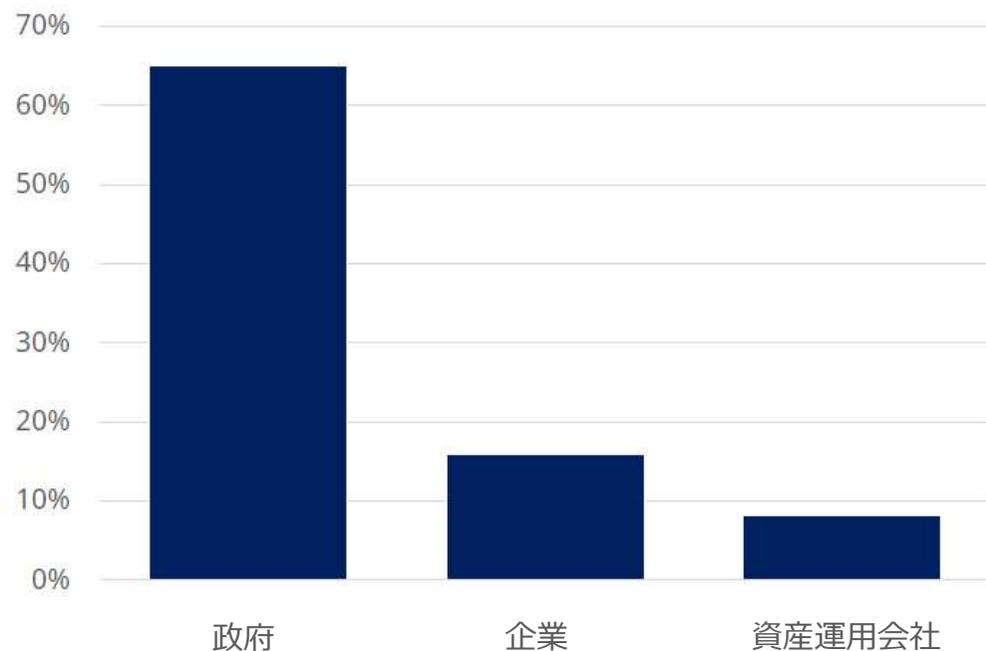
1 = 「全く責任がない」、5 = 「完全に責任がある」とし、5段階で評価してください。  
責任がある（4 + 5）と回答した投資家の割合。

# 気候変動の官民のコミットメントは増加している 企業や資産運用会社の取組比率は拡大が期待される

GHG排出量削減を掲げる政府や企業の数が増加しているが・・・



各主体のシェア（GDP、時価総額、運用資産総額）を比較すると大きな開きが存在する



Source: World Economic Forum, UN, SBTi, Net Zero Asset Managers Initiative, Schroders.

# Net Zero Asset Managers Initiative

2020年12月設立：グローバル30社、9兆ドルの資産運用総額

地球温暖化を摂氏1.5度に制限する世界的な取組みに沿って、2050年までに温室効果ガスのネットゼロ排出という目標を支持し、2050年までのネットゼロ排出達成に同調した投資を支援する取組み

参加する運用会社の3つのコミットメント：

- **2050年までに全預り資産残高についてネットゼロ排出に到達するという目標**に沿って、脱炭素化の目標についてアセットオーナーと協力して取組みます。
- 2050年までのネットゼロ排出の達成に合わせて、預り資産残高の脱炭素化割合に関する**暫定目標を設定**します。
- 少なくとも**5年ごとに暫定目標を見直し**、脱炭素化に向けた経済の転換が構造的に進捗するにつれて、預り資産高に対するカバー率100%に向けた取組みを加速させます。



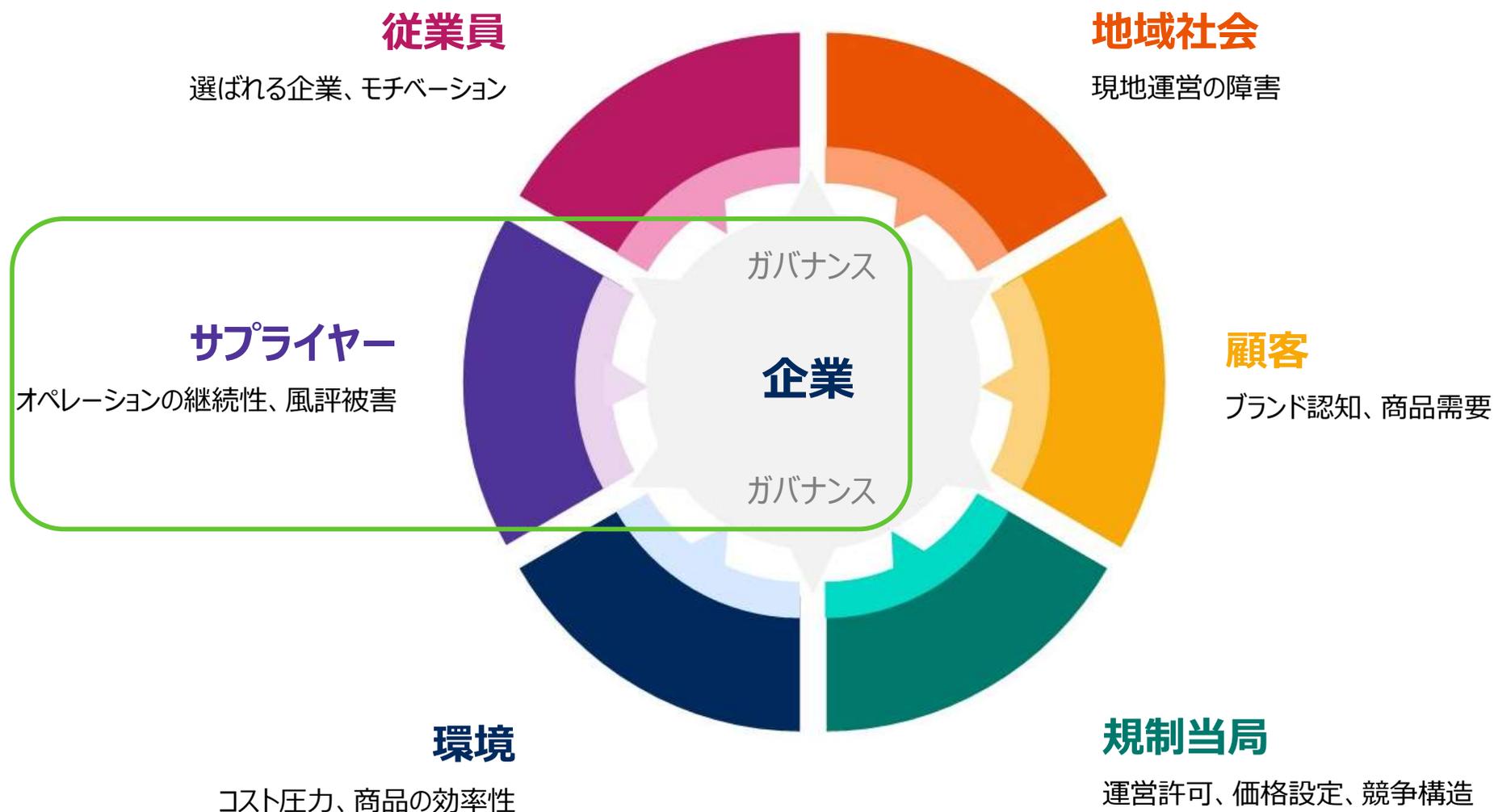
Source: Net Zero Asset Managers Initiative, Schrodgers.

# シュローダーのESG分析



# シュロダーのESGインテグレーション

ステークホルダーとの関係を分析することによる長期的な価値創造



Source: Schroders.

10 巻末の『重要なお知らせ』をよくお読みください。

Schroders

# シュローダー独自のESG分析ツールとリサーチ

急速に変化する投資環境に対して、イノベーションを起こし続けることが重要

## Proprietary tools and research

Innovation is key to progress

### 代表的ツール

CONTEXT

SustainEx

ThemeEx (開発中)

### 気候変動関連ツール

気温上昇予測ダッシュボード

カーボンVaR

物理的リスク

Climate alignment (開発中)

### その他

カントリー・サステナビリティ・ダッシュボード

地方自治体・サステナビリティ・ダッシュボード

SQ フレームワーク

GovEx (開発中)

### ESGテーマリサーチ

プラスチック

砂糖

パーム油

現代奴隷制

Source: Schroders. October 2020.

# SustainEx

## 受賞歴のあるインパクト測定ツール



## ESG専任チームが開発

Andrew Howard Global Head of Sustainable Investment							
Integration	Research & tools			Active ownership		Product	
<b>Stephanie Chang</b> Head of Integration	<b>Seema Suchak</b> Head of Sector Research	<b>Carol Storey</b> Sustainable Investment Analyst	<b>Caren Chang</b> Sustainable Investment Analyst	<b>Elly Irving</b> Head of Engagement	<b>Daniel Veazey</b> Head of Corporate Governance Analysts	<b>Hannah Simons</b> Head of Sustainability Strategy	<b>Sarah Bratton</b> Head of Sustainability North America
<b>Dan Chi Wong</b> Sustainable Investment Analyst Asia	<b>Maurizio Carulli</b> Sustainable Investment Analyst	<b>Catherine Macaulay</b> Sustainable Investment Analyst	<b>Holly Turner</b> Sustainable Investment Analyst	<b>Pippa O'Riley</b> Corporate Governance Analyst	<b>Yousif Ebeed</b> Corporate Governance Analyst	<b>Claire Herbert</b> Product Executive	<b>Belinda Gan</b> Investment Director
	<b>Dominic Tonge</b> Data Analyst	<b>Ovidiu Patrascu</b> Sustainable Investment Analyst		<b>Siobhan Weatherall-Brown</b> Corporate Governance Trainee	<b>Louise Wihlborn</b> Sustainable Investment Analyst	<b>Megan Theobald</b> Product Executive	

Source: Schroders. "Prix Impact" awarded by Option Finance in France in 2019. Impact Award granted by Environmental Finance in the UK in 2020. Team org chart as at November 2020.

## SustainEx

企業の人々や地球に対する  
ポジティブおよびネガティブな  
インパクトを定量化

企業の“社会的な価値”を利益に  
占める割合として説明

10,000以上のグローバル企業に  
ついて調査

# 重要なお知らせ

- 本資料は、情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成したものです。弊社あるいはシュローダー・グループが提供できる運用戦略をご紹介することを目的としており、いかなる有価証券の売買の申し込み、その他勧誘を目的とするものではありません。弊社はお客様との投資一任契約の締結という形態にて機関投資家のお客様に運用戦略をご提供させていただきます。
- 本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。
- 本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。
- 本資料に記載された特定のファンドに関する情報は、本資料でご紹介する運用戦略等を説明するための参考情報として記載したものであり、当該ファンドの募集その他勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。
- 本資料中に個別銘柄についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものでもありません。
- 本資料に記載された予測値は、様々な仮定を元にした統計モデルにより導出された結果です。予測値は将来の経済や市場の要因に関する高い不確実性により変動し、将来の投資成果に影響を与える可能性があります。これらの予測値は、本資料使用時点における情報提供を目的とするものです。今後、経済や市場の状況が変化するに伴い、予測値の前提となっている仮定が変わり、その結果予測値が大きく変動する場合があります。シュローダーは予測値、前提となる仮定、経済および市場状況の変化、予測モデルその他に関する変更や更新について情報提供を行う義務を有しません。
- 本資料中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく複製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があります。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、本資料の作成者あるいは提供者はいかなる責任を負うものではありません。
- MSCIは、本資料に含まれるいかなるMSCIのデータについても、明示的・黙示的に保証せず、またいかなる責任も負いません。MSCIのデータを、他の指数やいかなる有価証券、金融商品の根拠として使用する、あるいは再配布することは禁じられています。本資料はMSCIにより作成、審査、承認されたものではありません。いかなるMSCIのデータも、投資助言や投資に関する意思決定を行う事（又は行わない事）の推奨の根拠として提供されるものではなく、また、そのようなものとして依拠されるべきものでもありません。
- シュローダー/Schroders とは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。
- 本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。